

分科会のご案内

2008年6月14日（土）

【分科会Ⅰ】 9：15～11：45

① みつめよう！精神保健福祉士の専門性

精神保健福祉士が、さまざまなチームやプログラムにおいて活動し、活躍を期待される場はますます増えています。そうした中、他職種との連携や協働、かわりの中から見えてくる私たちの専門性を改めてみつめてみましょう。

座長：藤田さかえ（久里浜アルコール症センター）

座長：吉川公章（聖隷クリストファー大学）

- ①-1 精神医療審査会における精神保健福祉士の役割について
○橋本みきえ（西九州大学）・篠原由利子（神戸親和女子大学）・四方田清（千葉県精神保健福祉センター）
- ①-2 アルコール回復プログラム立ち上げにおける精神保健福祉士の気づきと働きかけ
○廣澤智恵・長原野・南野壽利・中川東夫（七尾松原病院）・木谷昌平（地域活動支援センターピアサポートのと）
- ①-3 チーム医療における精神保健福祉士の役割～性同一性障害の治療を通して～
○山田妃沙子・鈴木美佐・織田裕行・鈴木朋子・木下利彦（関西医科大学精神神経科学教室）
- ①-4 就労支援IPSモデルの実践
○中原さとみ（桜ヶ丘記念病院）
- ①-5 精神科デイケアの実践において精神保健福祉士が重視していること
—「精神科デイケアに勤務する精神保健福祉士の実態調査」から—
○富澤宏輔（大阪人間科学大学）

② 精神保健福祉士が用いるさまざまな方法

精神保健福祉士の実践のフィールドは多様化しており、ニーズもさまざまです。それらの支援場面において精神保健福祉士がどのような活動を展開しているのか、支援手法に焦点を置き事例報告を交えて私たちの役割について考察しましょう。

座長：菊池健志（神奈川県立保健福祉大学実践教育センター）

座長：小関清之（木の実町診療所）

- ②-1 家族教室から家族ワークショップへの展開と課題
○長谷川俊雄（愛知県立大学）
- ②-2 特別な配慮を必要とする子どもたちのためのティーチャーズトレーニング
—学校コミュニティをささえるソーシャルワーク実践—
○知名孝（沖縄国際大学）
- ②-3 アドミニストレーションの実践～社会復帰施設の運営を振り返って～
○森克彦・上田幸輝・佐藤美沙子・清水一葉・郷田絢子・谷奥大地・上島有美・宮脇稔
中尾達美・小塚裕喜・鑑光さおり・吉内一真・島原三枝・武藤麻美（社会復帰施設ア
ンダンテ）
- ②-4 就労支援施設における事例研究

—じっくりと熟し、「何か僕、今幸せなんスよ」と言えたAさん—
○三木良子・廣江仁・島津屋賢子・齋藤舞子（就労支援センター MEW）

- ②-5 デイケアで生まれた自主活動グループについて～私達に出来ることとは～
○池沢佳之・剣持慈子（ハートクリニック）

③ めざせ！地域とともにパワーアップ

長期入院者の退院や地域生活支援を促進していくためには、ネットワークの構築だけでなく、地域の活性化・地域自体の力を高めていく必要があります。各地からの実践報告を受けて、地域とともに成長していく支援の在り方を考えます。

座長：尾上義和（礒子区生活支援センター）

座長：齋藤敏靖（東京国際大学）

- ③-1 医療観察法における保健所および市町村の関与の実際と課題
—保健所および市町村全国調査を中心に—
○四方田清（千葉県精神保健福祉センター）、五月女純子（千葉県精神科医療センター）、松田裕児（成田市社会福祉協議会）、佐々木英司・関口暁雄（埼玉県立精神保健福祉センター）、堀切 明（埼玉県立精神医療センター）、尾上孝文（東京都立中部総合精神保健福祉センター）、佐藤三四郎（東京福祉大学）
- ③-2 地域交流会の10年 —当事者交流とスタッフの連携を目指して—
○石井健二（厚木保健福祉事務所）、吉永直角（相州メンタルクリニック中町診療所）
江波戸亮二（相州メンタルクリニック）、佐藤麻美（愛光病院）
- ③-3 当事者による演劇活動の意義と精神保健福祉士のかかわりについて
○新川妙子・佐々木哲二郎（NPO法人ウイングかべ）
- ③-4 名古屋市北区における地域ネットワークづくり活動のその後
○大村真理（北メンタル・クリニック）、佐野知枝（作業所どんぐりの家）、鈴木陽子（楠メンタルホスピタル）、新井康弘（名古屋市北・西区障害者地域生活支援センターこころとくらしのサポートセンターなないろ）
- ③-5 地域住民との協働事業がコミュニティにもたらす効果
～東京・大泉学園「ショッピング学園通り」の取り組みから～
○金井聡・明星マサ（つくりっこの家）、田辺安之（生活訓練施設ねくすと）、坂口節子
玉井弘子（大泉学園まちづくりネット）
- ③-6 長期入院患者への退院促進と地域生活支援の考察
○西薮史郎（三船病院）

④ 「退院したい」に応えるために

社会的入院を解消するためにはどのような支援や制度が求められるのでしょうか。各自治体における退院促進支援事業の実情と課題、また精神科病院で実施されているリハビリテーションプログラムについて取り上げます。

座長：武津美樹（援護寮萌木）

座長：中川浩二（和歌山県岩出保健所）

- ④-1 広島県における精神障害者退院促進支援事業の現状と課題（第1報）
—事業の普及・拡大に焦点を当てて—
○金子 努・越智あゆみ（県立広島大学）
- ④-2 広島県における精神障害者退院促進支援事業の現状と課題（第2報）
—自立支援員の機能に関する調査研究—

○越智あゆみ・金子 努（県立広島大学）

- ④-3 長期入院者の退院を阻むいくつかの要因
○平泉武志（仙台市精神保健福祉総合センター）
- ④-4 病棟グループ活動やプログラム活動を実施して見えてきたこと（その2）
○田村真実子・佃 正信・佐川芳朗・郷原真知子・道川内由香・藤井菜穂子・橋本祐子（関西青少年サナトリウム）
- ④-5 川崎市における精神障害者退院促進支援事業の取り組みについて
○上野康夫・下野ゆう子・鶴岡佐和・阪本直子（川崎市地域生活支援施設センター・カシオペア）、明田久美子・鈴木剛（川崎市精神保健課）

⑤ 社会資源への気づき

人、物、制度、機関、情報などあらゆるものが支援の社会資源として活用できるのではないのでしょうか。既存のものを活用したり、新しい社会資源を見出したり、創出している実践や研究報告から学びましょう。

座長 : 池田陽子（座間市役所）

座長 : 佐藤光正（駒澤大学）

- ⑤-1 精神科医療機関における聴覚障害者支援～手話通訳者との連携体制の検証～
○赤畑 淳（陽和病院）
- ⑤-2 学校が来た 専門学校が社会資源として活かした5年間を振り返る
○吉野比呂子（臨床福祉専門学校）、石川陽子（えごのみ）、岡本秀行（大泉病院）
- ⑤-3 第9回精神保健ボランティア全国のつどい in 静岡に実行委員として参加してみえてきたもの
○藤田尚・原田正美・鈴木裕子（菊川市立総合病院）、伊藤陽子（川口会病院）・荻原真由巳（きくがわ共同作業所）
- ⑤-4 自殺対策支援ネットワークの形成にむけての研究
○福井康江・野口悦紀・岡田正彦・高瀬美明・大野 恵（栃木県精神保健福祉士会）
- ⑤-5 高次脳機能障害者の就労に関する「辛さ」について（就労継続者と退職・休職者比較）
○隅原聖子・丸石正治・百川 晃・澤田 梢（広島県高次脳機能センター）
- ⑤-6 プロシューマーに関する史的展開について
○相川章子（聖学院大学）

⑥ どう向き合ってますか？思春期・青年期

思春期・青年期は、いじめ・不登校・ひきこもり等、特有の課題・問題を有しています。スクールソーシャルワーカー、教員など、さまざまな立場の精神保健福祉士による実践報告を中心に、新領域で果たす役割を考察します。

座長 : 阪田憲二郎（神戸学院大学）

座長 : 横倉 聡（東洋英和女学院大学）

- ⑥-1 専門学校生に対してのスクールソーシャルワーク
— 課題中心モデル（task-centered model）を使った介入事例 —
○青木 正（太田アカデミー）
- ⑥-2 スクールソーシャルワークにおける精神保健福祉士の果たす役割
～思春期における自己決定保障のとりくみをもとに～
○齋中康人（かまだメンタルクリニック）、富島喜揮（四国学院大学）

- ⑥-3 不登校事例の支援の一考察 ―スクールソーシャルワークの議論の中で―
○阿部正孝（東北福祉大学）、今川晋平・長江崇之（東北福祉大学大学院）、古川奨（北海道医療大学大学院）、高橋真由美（一陽会病院）
- ⑥-4 スクールソーシャルワークにおける精神保健福祉の有用性についての一考察
○長江崇之・今川晋平（東北福祉大学大学院）、古川奨（北海道医療大学大学院）、高橋真由美（一陽会病院）、阿部正孝（東北福祉大学）
- ⑥-5 「思春期の子供を持つ父親の会」を試みて
○今井楯男（メンタル&ライフサポート長岡）

⑦ スーパービジョンで元気になろう

専門職としての支援や実践には、さまざまな喜びや悩みがあると思います。各発表者によるスーパービジョンの実践報告を通してフロアとともに考え、より生き活きとした支援を目指しましょう。

座長：金成 透（所沢慈光病院）

座長：鈴木慶三（高崎健康福祉大学）

- ⑦-1 「援助者を援助する」ためのスーパービジョン実践
―よりよい利用者援助をめざした神奈川から発信―
○山中達也（特定非営利活動法人援助者のためのスーパービジョンを広める会）
- ⑦-2 精神保健福祉現場実習生の成長についての研究
―実習巡回指導時のスーパービジョンを通して―
○柴田 覚（東京福祉大学）
- ⑦-3 スーパービジョンが専門性を育むために果たす役割
―その肯定的効果の検討を通して―
○春日伸枝（皆神ハウス）
- ⑦-4 実習前における学生の持つ不安の整理に関する一試み
～学生による実習生倫理綱領作成～
○橋本菊次郎・今井博康（北翔大学）、小松祐子（地域活動支援センターそれいゆ）
- ⑦-5 若手精神保健福祉士が多い職場で話し合いを実践に活かす過程について
○眞島 恵（NPO法人 耕房“輝”）
- ⑦-6 自主研修活動KUPAにおけるピアグループ・スーパービジョンの考察
～「グループワーク」の一場面を通して～
○末崎政晃（久留米大学大学院）、石橋香織（松岡病院）、鎌田健次（KUPA事務局長）、大西 良（久留米大学）

